[R66にうりんデカール用胸パーツ]メガミデバイス対応 説明書 © R66

この度は当ディーラーの製作した胸パーツをお買い上げ頂き、どうもありがとうございます!! (´ ▽ `)
胸パーツの使用方法とこの胸パーツへのにうりんデカールの貼り方のポイントをまとめましたので、作業を始める前にご一読ください。
[R66オリジナルデカール] 1/12にうりん貼り方説明書PDFを未読のマスターは、まず最初にそちらをご一読ください。

【 目次 】

1P... 前置き
目次

2P... 胸パーツの取り付け
必要な用具
[1] 顔パーツ周囲の余分を除去する

3P... [2] 胸パーツ全体を軽く洗浄する
[3] 装着するボディに強力両面テープを貼る

4P... にうりんデカールを貼る
必要な用具
■ R66メガミ胸パーツへのにうりんデカール貼りに使える溶剤

5P... [1] にうりんデカールに水を馴染ませる
[2] にうりんデカールをR66メガミ胸パーツに貼る

5-7P... (A) 室温の低い時期に新マークセッター、新マークソフターで貼る
■ 細いシワが寄った時の対処法

8P... (B) 室温の低い時期にマークフィット、旧マークセッター、旧マークソフターで貼る
温度を上げるのに必要な用具と貼り方

9P... 各作例写真
連絡先

[胸パーツの取り付け]

＜ 必要な用具 ＞

- 硬い物が切れるニッパー

  胸パーツの周囲にある余分の切り落としに使います。レジンキャストはすごく硬いので、細い金属線が切れる一般用のニッパーが向いています。今回の用途程度なら100円ショップで売っているミニニッパーで充分です。プラモデル用の薄刃ニッパーは刃が欠けてしまうので絶対に使わない様に。

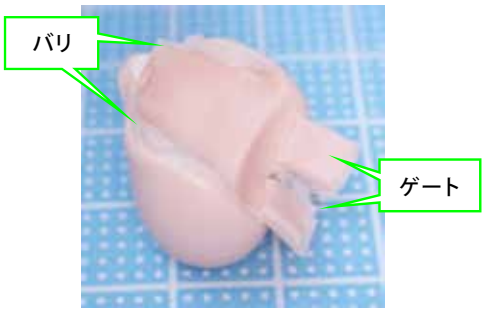
- 台所用かお風呂用の中性洗剤 、柔らかい歯ブラシ

  デカールと両面テープが付きやすくなる様に胸パーツの表と裏を洗浄します。

- 強力薄手両面テープ、定規、はさみ

  胸パーツをボディに装着するのに使います。両面テープは粘着力が強力で、厚みが0.15mmの薄手の商品を選んでください。

[1] 胸パーツ周囲の余分を除去する



余分なゲートとバリを取り除きます。（こちらで前もって一部除去してある場合があります。）

① 胸パーツの表側を自分に向け、胸の最下部の延長線上にニッパーの刃先を入れてゲートを切断します。

①でゲートを切断した箇所を横から見た状態です。裏側にまだゲートが残っています。

② 今度はパーツを裏返して、ゲートの残りを切断します。この写真は撮影の都合でパーツから手を離していますが、実際にはパーツを指でしっかり持って作業します。

②でゲートを切除した状態です。反対側のゲートも同じ様に2回に分けて切断します。

③ バリを除去します。特に道具を使わなくても、端から指の爪でこそぐ様にして取り除けます。

③でバリを取り除いた状態です。ここから更にデザインナイフややすりを使ってもっと綺麗に仕上げる事も出来ますが、装着すると全然見えない部分なので、そこはお好みで。

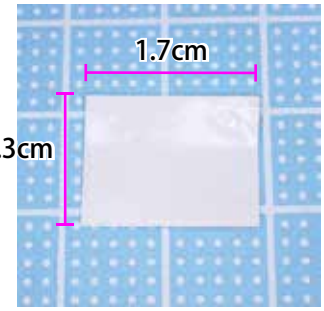
バリを爪でこそいだだけの胸パーツを装着してみました。まだ残っているバリの跡は、表からはほぼ見えません。
胸パーツの装着については次ページで説明します。

［2］胸パーツ全体を軽く洗浄する

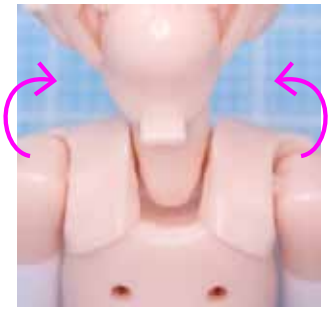
にうりんデカールを貼るのも両面テープで装着するのも、胸パーツに付いている複製用の離型剤や脂やほこりを落とさないと上手く付きません。不要になった歯ブラシに中性洗剤を付けて胸パーツの表と裏を軽い力でこすって、水ですすいでから水気を拭いてパーツを乾かします。中性洗剤で軽くこする程度で大丈夫なので、パーツを茹でる等は不要です。

［3］装着するボディに強力薄手両面テープを貼る

シリコン型への負担を減らす為に裏面は凹凸が無い形状にしているので、強力薄手両面テープでボディに装着します。



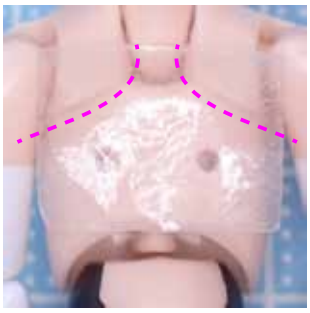
① 強力薄手両面テープを横幅1.7cm縦幅1.3cmにカットします。



② 粘着テープを貼る前に、ボディの姿勢を正します。肩が前に出ていたら後ろに引いて、　胸を張る様にします。

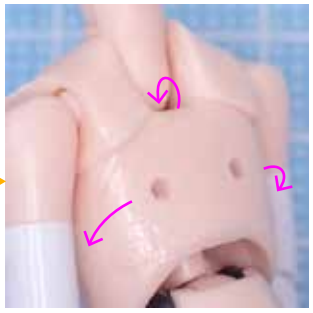
③ 粘着テープを写真の位置に貼ります。

④ 粘着テープの裏紙をはがします。粘着テープがボディに対して左右均等な位置になるように微調整します。



⑤ 粘着テープが肩パーツと重なっている部分をはさみでカットします。カットラインが多少ずれていても大丈夫です。

⑤でカットした状態です。写真の○で囲んでいる部分は必要なので、カットしないで残しておいてください。



⑥ ○で囲んでいた粘着テープ上部を首側に折り曲げ、左右もパーツに沿わせます。

⑦ 胸パーツを首に対して斜め上の角度から被せる様に装着します。胸パーツが粘着テープにしっかりと密着する様に、パーツを押し付けてください。。

胸パーツの装着完了です!!

[にうりんデカールを貼る]

[R66オリジナルデカール] 1/12にうりん貼り方説明書PDFを未読のマスターは、まず初めにそちらをご一読ください。

＜ 必要な用具 ＞

- 水と水を入れる容器　デカールに水を馴染ませるのに使います。容器は底が浅い物が使いやすいです。
- カッター　デカールの切り離しに使います。
- 平筆　デカールの移動やシワをならす為に使うので安い筆で大丈夫です。説明ではタミヤ モデリングブラシ HF 平筆No.02（税込価格 330円）を使用。面相筆ではなく平筆を使うところが重要です。
- 一般用の綿棒　デカールを伸ばすのに使います。
- タイマー　分刻みで作業するので時間を計ります。
- デカール用溶剤　軟化剤入りの溶剤が必須です。下記で詳しく説明します。

室温が23.5度以下の場合は軟化剤によるデカールの変質を促進させる為に、お湯を使って気温が高い時期の室内と同様の環境を作る為の用具が必要です。9ページで詳しく説明します。

■ R66メガミ胸パーツへのにうりんデカール貼りに使える溶剤

R66メガミ胸パーツは巨乳ですが胸先の起伏は小さくしてあるので、マークセッターも使えます。
なお、ここでは紹介していないマークフィットハードはマークフィットよりも軟化成分が強い溶剤なんですが、室温が低いとマークフィットと同じくらい時間が掛かって貼るのに向いているとは言いがたいので、どちらからも外しています。

＜ 室温が高い時期に向いている ＞

マークフィット
＜タミヤ＞
税込価格275円

旧マークセッター
（角瓶/生産終了）
＜GSIクレオス＞
税込価格 308円

旧 マークソフター
（角瓶/生産終了）
＜GSIクレオス＞
税込価格 275円

室温が高い時期は使いやすいですが、室温が低いと溶剤の成分が効果を発揮するまで時間が掛かってにうりんデカールが扱いにくくなるので、お湯で温度を上げる方法で使いやすくします。
温度を上げる用具が必要な点が面倒に感じるかもしれませんが、下記の新マークセッター・新マークソフターをそのまま使う貼り方よりも作業自体はやりやすく、すぐにシワが解消されます。

＜ 室温が低い時期に向いている ＞

新マークセッター
（丸瓶）
＜GSIクレオス＞
税込価格 308円

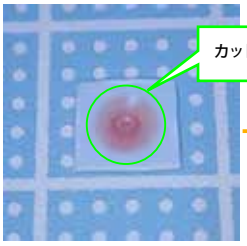
新マークソフター
（丸瓶）
＜GSIクレオス＞
税込価格 275円

成分がリニューアルされた新マークセッターと新マークソフターを今回初めて使ってみましたが、メーカーさんの商品説明の通り軟化成分が強くなっていて、特に新マークソフターは非常に強いです。
軟化成分が強いので室温が低い時期でもそのまま使えてお手軽ですが、温度を上げないで使うのでシワが全部解消されるまで少し手間が掛かるのと、後述の②～④でデカールが胸パーツにピッタリと張り付いてしまいやすく、⑥で胸先に移動させる時に剥がすのがちょっと難しい場合があるのが難点かも。
それと新マークセッター使用の場合、デカールを胸の曲面で伸ばした箇所に接着成分が残ってパーツに水垢の様な跡が付きます。これは水では落ちないのでMr.うすめ液（模型用シンナー）で拭き取る必要があります。

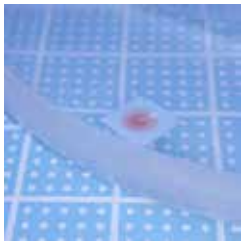
また、軟化成分が強いので室温が高い時期に使うとあっという間に軟化しすぎになる可能性が考えられます。この説明書を書いている現在は1月/室温17.5度なので、気温の高い時期になったらまた実験してみます。

［１］にうりんデカールに水を馴染ませる

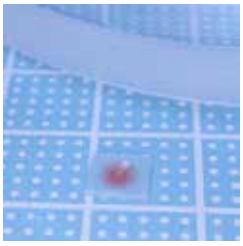
口デカールや異能力・Kawaiiデカール等に入れているごく小さなデカールは水から引き上げにくいので、「R66式瞳デカールの貼り方説明書」では容器に水を含ませたペーパータオルなどを敷いてデカールに水を馴染ませるやり方を記載していますが、にうりんデカールはそこまで小さくないのでどちらでも大丈夫です。



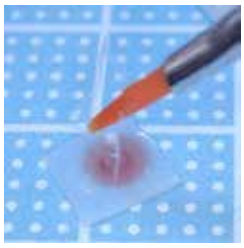
① 貼りたいサイズをカッターで四角く切り出します。絵柄の周囲は事前に丸くカットされているので、そのカットラインより外を切ります。



② 水に10秒漬けてから引き揚げます。



③ そのまま15分放置します。引き揚げて30秒くらいで貼れる状態にはなるのですが、デカールに水を馴染ませる為に15分時間をおきます。



④ カットラインより外側の透明なシートを先に取り去ります（にうりんデカール部分を取ろうとした時に外側と重なるとくっついてしまう為）

［２］にうりんデカールをR66メガミ胸パーツに貼る

R66メガミ胸パーツは巨乳ですが胸先の形状を工夫してあるので、[R66オリジナルデカール] 1／12にうりん貼り方説明書DF内の起伏が大きい胸先用の貼り方ではなく起伏がなだらかな胸先に軟化剤で貼るのと大体同じ要領で貼れます。

にうりん貼り方説明書PDFは室温の高い時期が基本で室温の低い時期については追記の形でしたが、新マークセッター,新マークソフターを室温の高い時期に使用した時にどうなるのか現時点で検証出来ないので、今回の説明書は室温の低い時期を基本として新マークセッターと新マークソフターをそのまま使用する貼り方と、お湯で温度を上げてマークフィット,旧マークセッター,旧マークソフターを使う貼り方を説明していきます。

手順を細かく説明しているので文字数がやたらと多いですが、実際には溶剤で変質させて全方位に伸ばして貼るだけなので、そう大変な作業ではありません。

(A) 室温の低い時期に新マークセッター、新マークソフターで貼る

① デカールに軟化剤を均一に馴染ませる為に、まずは胸先近くの曲面がゆるやかな場所に、貼るサイズよりも広い範囲に新マークセッターか新マークソフターを塗布します。溶剤は多目に乗せておきます。

② 水に浸した後に15分放置したデカールを筆の上に乗せて胸の上まで運び、①で塗布した溶剤の上にデカールを置きます。デカールがパーツの曲面に沿わずに浮いている箇所があったら、デカールの端から溶剤を追加してデカールの裏側に溶剤が十分に行き渡る様にします。

溶剤を馴染ませる為に新マークセッター使用は5分放置、新マークソフター使用はサイズ1～6は30秒放置サイズ7～11は40秒放置します。

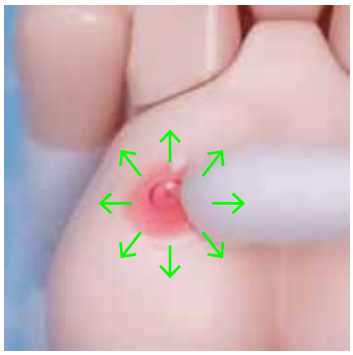
にうりんデカール貼りは、ここで最初にしっかりと軟化成分で変質させる事が大事です。溶剤の上に置いたばかりのデカールはハリがあり全体的にまっすぐでデカールの端がパーツから浮いていますが、変質し始めるとデカールの外周の見た目が変化して柔らかさが出てきます。

室温の低い時期とひとくくりにして説明していますが実際には室温が1度違うだけでも影響はあるので、見た目に変化が感じられない場合は変質するのが遅くなっているので、放置時間をもう少し長くして様子を見ます。

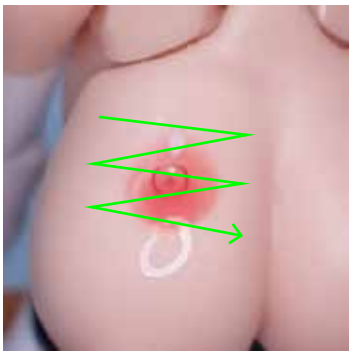
6ページの③に続く

5ページ②の続き

③ 放置時間が終わったら、すぐに水を多めに含ませた筆でデカールのサイズよりも広い範囲に水を張ります。



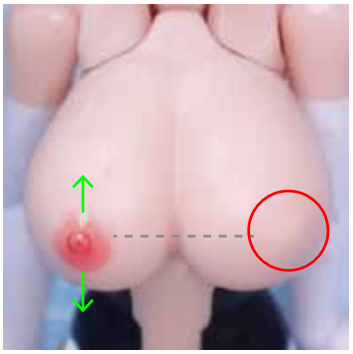
④ 水を多めに含ませた綿棒で外に向かってデカールを伸ばしていく気持ちで放射線状に撫でていきます。軽い力でゆっくり丁寧に撫でます。この際にデカールの中心を押すとピッタリくっついてしまってこの後移動する際に苦労するので、中心は押さない様に気を付けます。



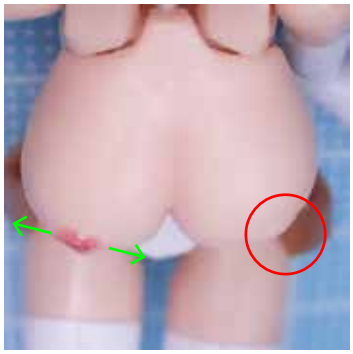
⑤ デカールが全方位に綺麗に伸ばせたら、また水を多めに含ませた筆でデカールのサイズよりも広い範囲に水を張ります。

⑥ デカールを胸先に移動させる為に、デカールの下にも筆で水を差し入れていきます。デカールがパーツにくっついているのを筆で少しずつ剥がしながら下に水を差し入れて、パーツからデカールを浮かせます。デカールが柔らかくなっているので、筆でグシャっと潰さない様に慎重に作業します。

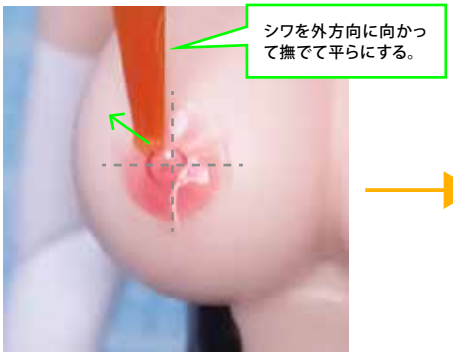
⑦ デカールが水に浮いてスルスルと動く様になったら、筆の腹の部分でデカールの端を押して、胸先の貼る位置ガイドの膨らみの上に移動させます。
これまではここでまた溶剤を追加していましたが、R66メガミ胸の胸先の起伏は小さいので溶剤は追加しないで伸ばしていきます。その為に②-④の工程でデカールをしっかり変質させて全方位に伸ばしておく必要があります。



⑧ 反対側のガイドの膨らみの位置を目安にしながら、デカールの縦の位置を筆で微調整します。デカールがガイドの膨らみの中心からずれずに乗っているとシワが均等に寄って、後の工程でシワが綺麗に解消されます。シワがいつまでも解消されない場合は、デカールの位置が膨らみからずれていてシワが偏ってる可能性が高いです。



⑨ 次に上方向から胸先を見て、デカールの横の位置を筆で微調整します。
レジンの胸パーツは表面がツルツルしているので、以降の工程でデカールを全方位に伸ばそうとすると位置が頻繁にずれてしまいます。時々⑧と⑨を繰り返して、ずれた位置を元に戻してください。



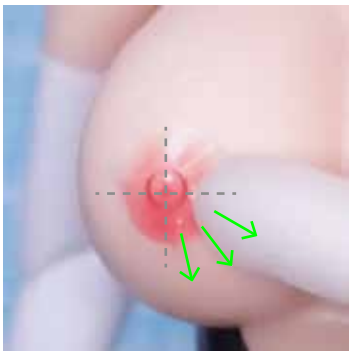
⑩ 水を含ませた綿棒で中心を軽く押してシワを全体に散らし、水を少し含ませた筆でシワを一箇所だけ中央から外側方向に向けて押して平らにします。この際に綿棒で同じ事をするとシワのままアイロンを掛けちゃった様になりがちなので、シワは必ず筆で撫でて潰します。
シワを押すと他の場所にシワが寄りますが、そのシワはそのままにして⑪の作業に移ります。

⑪ ⑩で筆で平らにした箇所を含めたデカールの1/4を、水を多めに含ませた綿棒で中心から外方向に向かってアイロンを掛ける様な気持ちで放射状に軽く撫でて行きます。
デカールが綿棒と一緒に動いてしまって外方向に伸ばしにくい時は、伸ばしている方向と対極側のデカールの端を指でそっと押さえて、動かないようにしながら綿棒で伸ばします。

7ページの⑫に続く

6ページ⑪の続き

⑫ 次に反対側1/4もしくは1/2を⑩と同じ様に筆でシワを平らにします。



⑬

⑫で筆で平らにした辺りを⑪と同様に綿棒で外方向に撫でて行きます。シワは移動しているだけで常にどこかに寄っていますが、それで間違いありません。1/4の場合はまだ伸ばしていない方向も同様に繰り返してデカールをひと通り全方位に伸ばします。少しずつ全方位に伸ばしていく事で最終的にシワが無くなります。

⑭ デカールのシワが全て無くなるまで⑩～⑬の工程を繰り返します。
溶剤を1度しか使っていないのでシワが解消されるまで少し時間が掛かりますが、⑩～⑬の全方位に伸ばす動作を3周くらい繰り返すとシワが少し落ち着いてきて、だいたい6周くらいでシワが全て解消されると思います。貼っているのが小さいサイズであれば、もっと早い段階でシワが無くなります。

シワが全部解消された時点でデカールの端が微妙に反って目立っている場合は、水を含ませた綿棒に溶剤を足して、デカールの端を綿棒でそっと撫でて落ち着かせます。強い力で擦ると柔らかくなっているデカールが破れる可能性があるので注意します。

⑮ ⑭を自然乾燥させて完成です!! 作業中はデカールが胸パーツの表面で滑りまくりですが、完全に乾燥するとパーツにしっかり固定されて、故意に剥がそうとしなければまず剥がれませんし表面も丈夫です。
私はにうりん部分に光沢があるのアリ派なのでトップコートは吹かないでそのままにしていますが、デカールの境目を完全に見えなくしたい場合は半光沢か、つや消しのトップコートを吹かれると良いと思います。

■ 細いシワが寄った時の対処法

細いシワはよく寄りますが、胸先の起伏が小さいので浅いシワにしかならず、デカールの上から水を張るとすぐに元に戻ります。

水を含ませた筆で、シワが寄っている箇所の中心から外方向に向かってごく軽い力でそっと撫でます。

シワが浅いので水を加えるとすぐに元に戻ります。これでシワが解消されにくい場合は、デカールを胸先の膨らみから少しずらした位置に移動させるとやりやすいです。シワが解消されたらまた膨らみの上に戻します。

(B) 室温の低い時期にマークフィット、旧マークセッター、旧マークソフターで貼る

室温の低い時期は溶剤の効果があまり発揮できずデカール自体もやや硬めなので、お湯を使って気温が高い時期の室内と同様の環境を作ります。必要な道具を用意しなければいけないので面倒に感じると思いますが、デカールの状態が全く違って作業が本当にラクになるのでおススメです。

＜ 温度を上げるのに必要な用具 ＞

・フタ付きの耐熱容器

電子レンジ対応の耐熱容器を使います。説明では「アスベル 早ワザレンジ名人 4個入 Mサイズ」を使用。100均でも同様の商品が売っていると思います。

・鍋敷き か コースター　お湯を入れた容器を置くのに使います。不要な雑誌等でもOK。

・袋の口を閉じる道具

ビニール袋の口を何度も開け閉めするので、ひと手間で留められるクリップ状の物が便利です。実験では「イノマタ化学 ネームクリップL 7本入」（ヨドバシ価格283円）を使用。無ければ電化製品購入時にケーブルを束ねてあるビニールタイや、輪ゴム、普通に袋の口をねじって縛ってもOK。

・80～90度位のお湯

電子レンジの場合は容器の8分目位まで水を入れて3分程加熱すると大体80度くらいになります。
やかん・鍋に水を入れてガスコンロでお湯を沸かす場合は、沸騰直後に容器に注ぐと大体90度くらいになります。どちらの方法でもお湯が出来たらすぐにフタをきっちりはめ、ビニール袋の口を閉じて温かい空気が逃げないようにします。お湯の量が少ないとあっという間に温度が下がってしまうので、容器の8分目位まで入れておいた方が良いです。

空気を多めに残す様に袋の口を閉じて、温かい空間を作ります。

にうりんデカールに軟化剤を塗布したらすぐにフタの上に胸パーツもしくはボディを乗せ、袋の口を閉じて放置します。フタからパーツに熱が伝わる事もデカールを変質させるのに必要です。

カッターマット等の作業用マットは熱で変形しやすいので、鍋敷きや不要な雑誌等の上に乗せる様にします。

にうりんデカールを水から引き上げて15分放置している間にお湯を準備します。お湯を入れた容器にフタをしてビニール袋に入れ、袋の口をねじって留めるか縛って閉じた状態にしておきます。

電子レンジ用の容器のフタはかぶせてあるだけで外れやすいので、容器を持ち上げる時にはフタではなく本体をしっかり持ちます。

貼り方自体は前述の室温の低い時期に新マークセッター、新マークソフター使用の貼り方(A)と同じで、デカールを溶剤の上に乗せて放置する時に胸パーツを袋の中の容器のフタの上に乗せ、素早く袋の口を閉じて下記の指定時間放置します。放置時間が短いので作業が忙しいです。

＜ 約80度位のお湯の場合 ＞
R66メガミ胸パーツへの貼り方（A）の②の曲面がゆるやかな箇所で放置する時間を、マークフィット使用では4分に、マークセッター・マークソフター使用では10秒に変更。③は不要で④以降の工程は貼り方（A）と同じです。

＜ 約90度位のお湯の場合 ＞
R66メガミ胸パーツへの貼り方（A）の②の曲面がゆるやかな箇所で放置する時間を、マークフィット使用で2分に変更。③は不要で④以降の工程は貼り方（A）と同じです。

＊約90度位のお湯でマークセッター・マークソフターを使用するのは放置時間が短すぎて作業しにくいので、お湯の温度を80度くらいまで冷まします。その場合はクッキング温度計があると便利です。現在使用しているのはタニタ TANITATT-584　（ヨドバシ価格1180円）

お湯は温度がどんどん下がっていってしまうので、作業中に容器を触ってお湯が冷めてきたと感じたらまたお湯を作り直します。お湯の温度が70度以下に下がると変質が最終段階まで進まないので作業が終わりません。

ガレージキットディーラー
R66-AEL

[各作例写真]

今回の作例に使ってない色やサイズは、[R66オリジナルデカール] 1/12にうりん貼り方説明書PDFの作例の方も合わせてご参照ください。

【1/12にうりん(小)】サイズ:1～6　色:1A～4B
【1/12にうりん(大)】サイズ:7～11　色:5A～7B

【1/12にうりん2(小)】サイズ:1～6　色:1C～8C
【1/12にうりん2(大)】サイズ:7～11　色:3C～8C

R66メガミ胸BM1-01A
にうりん2_色2C サイズ4

R66メガミ胸BM1-01A
にうりん2_色4C サイズ6

R66メガミ胸BM1-01A
にうりん2_色5C サイズ9(貼り方説明で使用)

R66メガミ胸BM1-01A
にうりん2_色3C サイズ11

R66メガミ胸BM1-01A
にうりん2_色3C サイズ11

R66メガミ胸BM1-01A
にうりん2_色3C サイズ11

何かありましたら、お手数ですがサイトのメールフォームからご連絡をお願い致します。

ガレキディーラー R66-AEL　サイト: https://r66ael.web.fc2.com/　ツイッター:https://twitter.com/R66_AEL